

☆☆

年以上の会員にもご参加いただき、垣根を超えた交流をはかりたいとのことです。参加希望者は2月20日までにクラブ事務局にお申し込み下さい。

- 2. 2月のロータリーレートは1ドル154円です。
- 3. ロータリーの友事務所より、2025-2026年度版ロータリー手帳予約のご案内です。特別月間、行事予定などを掲載しています。また付録のロータリー関連資料には、ロータリー用語など活動に役立つ情報も入ります。価格は、昨今の物価高騰に伴い税込み880円に改定となりました。予約の締め切りは2月25日です。
- 4. 例会変更については、引き続き現在のクラブでもビジター受付は実施されていません。

出席委員会報告 **高波委員長**

本日2月7日 欠席5名 出席率約83.87%

ニコニコBOX報告 **齊川委員**

- ・卓話をさせていただきます。佐々木君
- ・今月は平和と紛争予防月間です。飯島君
[会員誕生]浅川君、村山君 [夫人誕生]浅川君、柳山君、三澤君 [皆出席]太田君、望月君
[何となく]舘島君、齊川君 [前回欠席]小畑君

☆☆☆ 本日のプログラム ☆☆☆

司会 **福田プログラム副委員長**

【雑誌評論】小林正樹副委員長



まず縦組みP15「俳壇・歌壇・柳壇(はいだん・かだん・りゅうだん)」柳壇に福田雅春会員の作品「寒いから入れてと叫ぶすま風」が掲載させました。

RI 指定記事はP5のRI 会長メッセージ、P54の「ロータリー財団管理委員長からのメッセージ」、「カルガリー国際大会」について、目を通して下さい。第2600地区大会略報としてP46に掲載があります。P8から「平和構築と紛争予防月間」特集としてジョージ・武井氏のインタビュー記事をご覧ください。P7に宇宙船エンタープライズ号の隊員の写真があります。一番右の黄色い服の方が宇宙船の操舵役ヒカル・スルーことジョージ・武井氏です。私は隣の独特な風貌ミスター・スポックことレナード・ニモイ氏が印象に残っています。以降、戦争により日系人がアメリカで差別や攻撃に会い強制収容所にまで送り込まれたこと、そして戦後にはアメリカが公民権運動や人種差別開放運動により強制収容の謝罪と賠償金請求の運動によりアメリカの民主主義が進展したこと、しかしその民主主義も人間と同じくもろく崩れさることもあるなど、現在のトランプ大統領の指針と見比べると、また違った時代背景を感じさせる経験

が語られています。P16からは自らが「ゲイ」であることをカミングアウトし、人間の多様性を踏まえて「スタートレック」の描いた未来の平和社会実現を願っているという趣旨なのでしょう。

縦組み P4から「言葉を守る・テレビディレクターの考える戦争」P7の軍が特攻隊員に示したマニュアルは衝撃的で、知覧特攻平和会館を思い出します。

縦組みP9のこの人訪ねてのページは、ロータリーの職業奉仕を具現化しています。「会社も人も生き物、変化に対応して好機待つ」チャールズ・ダーウィンの名言で終了します。「最も強い者が生き残るのではない、最も賢い者が生き残るのでもない、唯一生き残るのは変化できる者である」

【平和と紛争予防月間特集】佐々木清夫会員



まず最初に皆さんご存じの通り、2024年ノーベル平和賞が日本原水爆被害者団体協議会に送られたことは大変良かったと思います。今日は少し違った切り口でお話ししますが「銃後の守り」という言葉を知っている方は

会員さんの中では少ないかと思います。一家の働き手が出征してしまい、年寄と女子、子供が家を守ったことです。テレビでパレスチナなどの悲惨な状況を目にしますが、わずか80年前この日本でもそういうことがありました。私の父の兄弟は男4人女2人で、4人は全員兵隊に行きました。幸い上の2人は内地にいたので帰ってきましたが、下の26歳・22歳の2人は残念ながら戦死しました。また「影膳」というものがありました。出征した人が無事であるように、食べ物に困らないように、皆と同じお膳を作ったことを今でも覚えています。



戦争について15分で語るの大変乱暴なので、写真をお配りしました。昭和19年頃、出征を村民が送る様子です。下は東京からの疎開の人達と一緒に撮った写真です。田中角栄は「戦争を知らない世代が世の中を動かすようになった時が一番危ない」と話しました。今はいつ核の



ボタンが押されるかわからない世の中になっています。

【点鐘13:30】 **飯島会長**